

## いなみチャレンジクラブ（いなチャレ） よくあるご質問（Q&A）

| No | 区分         | 質問                                                                        | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 関連条項       |
|----|------------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1  | 会費・費用      | ①定員（募集人数）や②会費は団体が自由に決められますか。少人数・低額（例：10名以下・月5,000円）・週1回といった小規模な運営でもよいですか。 | ①定員については、各クラブ（実施主体）ごとに設定でき、少人数・小規模な運営も可能です。活動回数に下限はなく、週1回や月1回の活動も認めています。小学生や大人と中学生が一緒に活動する多世代の取組も差し支えありません。<br>②会費についても、各クラブ（実施主体）ごとに設定できます。ただし、「いなチャレ」は営利を目的としないため、会費は指導者謝金・保険料・材料費など運営に必要な実費の範囲で、可能な限り低廉に設定してください。既存の習い事を運営している場合は、いなチャレ分の収支を区分して管理いただきます。（国が示す参加費の目安は月額1,000円～3,000円程度。あくまで目安で上限を定めるものではありません。） | 方針1-2、2-16 |
| 2  | 活動時間・休養日   | 活動時間や曜日に決まりはありますか。                                                        | 決まりがあります。1日の活動時間は原則として平日2時間程度・学校休業日（土日等）3時間程度とし、週あたり最大11時間程度が目安です。中学校施設を使う場合は、平日16時～21時のうち2時間程度まで、休業日は21時までの日中3時間程度までを基本とし、平日18時以降の活動は週2回まで、水曜日は活動を行いません。活動回数に下限はないため、「16時以降・2時間まで・週1回」といった設定も可能です。                                                                                                                | 方針2-10     |
| 3  | 指導者・スタッフ   | 指導者は2名以上必要とのことですが、活動中は常に2名以上いなければなりませんか。                                  | 応募要件として、スタッフは原則として代表者を含め2名以上で構成いただきます（安全管理・ハラスメント防止のため）。この「スタッフ」には指導補助や見守りなど、直接の指導を担わない方も含まれます。専門的な指導は1名、もう1名は見守り・補助役という体制でも差し支えありません。活動の際は、原則として複数（2名以上）の方が携わっていただくようお願いしています。                                                                                                                                    | 方針2-7      |
| 4  | 活動場所・施設・備品 | 中学校の家庭科室など学校施設や、ミシン・アイロンなどの備品を借りることはできますか。                                | 公共施設もしくは、学校教育に支障のない範囲で、学校施設を活用いただくことを想定しています。利用にあたっては施設予約や学校・施設管理者との調整が必要で、利用できる曜日・時間帯は各校の施設状況により異なります。学校備品の使用については現在協議中です。消耗品の取扱いなど各団体もしくは参加者にてご準備いただくことになります。支援策も含めて協議中のため、現時点での確約はいたしかねますが、できる限り活動しやすい環境となるよう調整してまいります。                                                                                         | 方針2-9、2-14 |